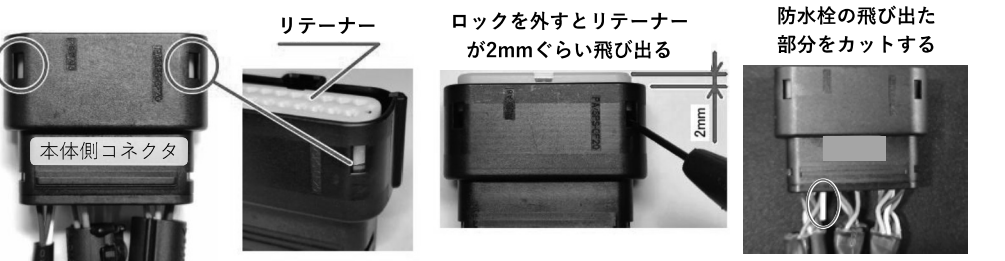
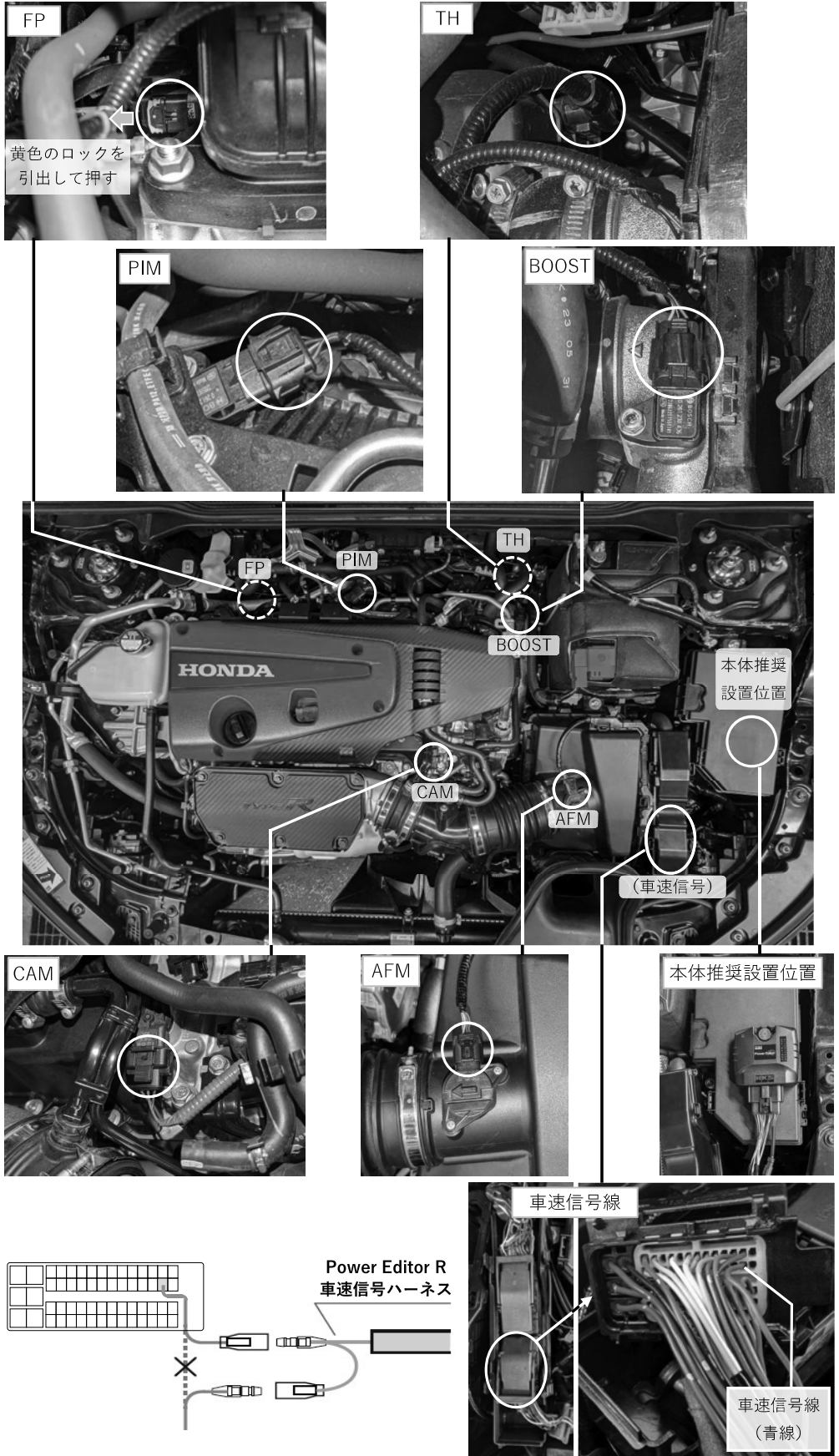


6. ハーネス取付け

- ① 車両のエンジンを切り、10 分以上放置した後バッテリーのマイナス端子からケーブルターミナルを取外す。車両の状態により10 分以上放置時間が必要な場合があります。適宜放置時間を設けてください。
- ② Power Editor R 本体を高温になる場所や、直接水が掛かる場所を避けて設置する。両面テープで固定する場合は貼付け面の汚れを落とし、よく脱脂してから貼付け、タイラップを併用し固定してください。両面テープだけで固定すると、経年劣化などで剥がれた場合危険です。
- ③ HR-1 ハーネスの各センサへのハーネスを接続する。各センサ側に貼付けてあるラベルと下図を参照し、各センサと純正ハーネスに割込ませるように接続する。
※ コネクタ接続時はロックがしっかり掛かっていることを確認してください。
※ 燃圧の補正を行わない場合には燃圧センサへのハーネス（FP ラベル）は接続する必要はありません。接続しないFP ハーネスのオスコネクタ、メスコネクタを接続して絶縁の代わりとしてください。
- ④ 車速補正を使用する場合は、ECU ハーネスの車速信号線の配線を切りECU 側にメスギボシ、車両側にオスギボシを取付け、車速信号ハーネスのギボシ側を接続する。車速信号ハーネスの端子側はHR-1 ハーネスの本体側コネクタのリテーナーロックを外し（※1）Pin18 に挿入する（※2）。車速信号ハーネスを接続しない場合はPin18 に防水栓を取付けてください（※2、※3）。
※1 精密ドライバ（－）でリテーナーを持ち上げるようにしてロックを外してください。精密ドライバを2 本使用し、左右同時に持ち上げるとロックを外し易くなります。
※2 「カチッ」と音がするまで挿し込んでください。
※3 防水栓が周りの電線に干渉しないよう面位置でカットしてください。
※ 端子や防水栓を一度奥まで差込むとコネクタ内部でロックが掛かり抜けなくなります。十分注意して作業してください。再度抜く場合はリテーナーを完全に取外してからコネクタ内部のロックを外す必要があります。



- ⑤ リテーナーを押込んで元の状態に戻しPower Editor R 本体にHR-1 ハーネスを接続する。
- ⑥ ハーネスが振動で動かないようPower Editor R 本体に同梱のタイラップで適宜固定してください。
- ⑦ 全てのコネクタが正しく接続できていることを確認後、バッテリーのマイナス端子にケーブルターミナルを取付ける。



7. Power Editor R 本体へのデータ書き込み

- ① 本製品に取付けられている防水用コネクタを外し、Power Editor R 本体に同梱のUSB ハーネスを取付けパソコンと接続する。
- ② 「Easy Writer for Power Editor R」を使用して作成したマップデータを書込む。
※ HKS ホームページより最新バージョンをダウンロードしてご使用ください。
※ セッティングが完了しUSB ハーネスを外した後は、防水用コネクタ または マップ切替えスイッチ用ハーネスを接続してください。



8. 異常、故障時の対応

警告

使用中、本製品に異音・異臭等の異変があった場合には、本製品の使用を直ちに中止し、お買い上げの販売店までお問合わせください。
そのまま使用すると、車両の破損や火災の原因となります。

注意

●故障等の修理は、お客様ご自身では絶対に対処せず、必ず専門業者に依頼してください。
●走行中、車両に異音・異臭・振動等の異変があった場合には、ユーザマニュアルに従って対処してください。

9. アフターサービスについて

本製品に関するお問合わせ、及び紛失部品等の購入、修理はお買い上げの販売店までお問合わせください。

10. 用語の説明

- 専門業者：お買い上げの販売店及び取付けを依頼する整備工場・ショップ。
コードNo.：H K S 製品及び部品を注文する際に使用する番号。
ユーザマニュアル：お車の購入時についてくる車両の取扱説明書。
点検・整備：安全に運転するために、本製品及び自動車全体の機能・性能を確認し、不具合部位を修理・調整すること。
日常点検：自動車を運行する人が行う点検。日常点検及び点検項目は、ユーザマニュアルに従ってください。
高温になる場所：温度上昇の高いところ。
例、エンジン本体や排気系部品の近傍。
誤使用：加工及び分解・改造・用途外使用を含む誤使用。

11. 改訂の記録

Ver.	年/月	記載内容変更
3-1.01	2025/2	初版
3-1.02	2025/4	記載内容変更